



# 学校だより



6月号

令和7年5月30日  
江戸川区立瑞江小学校

## 「チーム瑞江」の運動会

校長 牧岡 優美子

今年の運動会は、素晴らしい「運動会日和」でした。夕方から雨になるとの予報が出ており、朝からどんよりとした曇り空、最高気温が20℃程の涼しくて過ごしやすい最高の日になりました。「運動会日和」と言えば、昔は雲一つない青空を指していましたが、今は快晴の運動会では熱中症の危険と隣り合わせです。気温だけでなく、強い日差しや地面からの輻射熱、湿度によっても人体に影響があり、子どもが倒れてしまいます。今年度の選抜リレー練習は、暑い日中でなく朝練に切り替え、登校を10分間早めて取り組みました。毎日熱中症の心配をし、家庭に水筒と冷感タオルなどのお願いをしながら、当日を迎えました。



代表委員が考えたスローガンは「協力して楽しい運動会をつくろう」でした。私は開会式の挨拶で「『楽しい』は、ふざけて楽しいことではありません。全力で頑張り、終わった後にクタクタになって達成感を感じることです」と話しました。子どもたちは全種目で、力一杯走り、表現し、応援し合いました。各学年とも、前日リハサルよりも当日の方が良かったのは、全力を出し切ったからです。

そして高学年は、自分の出場種目の他に、運動会係児童の仕事も頑張りました。応援団は、全学年の短距離走と選抜リレーの応援に全力を尽くし、声を出し、団旗を振りました。その姿を見て、下学年の子どもが応援団の動きとセリフを完コピーしていました。全力で応援する姿が、伝統として引き継がれる瞬間を見てグッと嬉しくなりました。上の学年を見て、下学年は育っていきます。

そうした姿を保護者・地域の皆様が大きな声や拍手で応援してくださり、素晴らしい運動会になりました。子どもたちは閉会式にはすっかり疲れていましたし、下校時には眠そうにしている子、声が枯れてガラガラな子、荷物を引きずっている子など、「楽しい運動会」をやり遂げた姿で帰って行きました。

PTA ボランティアの方々とグディーズの皆さんには、朝早くからテント設営、受付、来校者対応、石灰のラインを定着させるミスト噴霧器、最後のテント片付けまで、瑞江小の運動会を支えてくださいました。また、昨年度の卒業生の中にも、最後まで残ってテントの重りやペグの片付けを手伝ってくれた生徒たちがいました。そのおかげで6年生の片付け作業がぐんと減り、定時に完全下校ができました。

「チーム瑞江」の皆さん、子どもたちのために力を貸していただき、本当にありがとうございました。多くの応援に支えられて、瑞江小の子どもたちは幸せです。その全てに感謝しながら、これからも力を尽くしてまいります。